

2012年12月25日

防衛大臣 殿  
沖縄防衛局長 武田 博史 殿

公益財団法人 日本自然保護協会  
沖縄・生物多様性市民ネットワーク  
沖縄環境ネットワーク  
沖縄ジュゴン環境アセスメント監視団  
沖縄から基地をなくし世界の平和を求める市民連絡会  
へり基地反対協議会  
へり基地いらぬ二見以北十区の会  
沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック  
ジュゴン保護キャンペーンセンター  
ジュゴンネットワーク沖縄  
JUCON (沖縄のための日米市民ネットワーク)

「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価に関する有識者研究会 最終報告  
～ 評価書の補正に係る提言 ～」に対する意見書の送付

「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価」(辺野古アセス)の『評価書』に対し、沖縄県知事が「評価書で示された環境保全措置等では、事業実施区域周辺域の生活環境及び自然環境の保全を図ることは、不可能」との厳しい意見を出しました。

それに対して、防衛省は、知事意見の内容を精査して評価書を補正するため、大臣への助言を行う「有識者研究会」を今年4月に発足させました。

その後、私たち市民団体は、同研究会の非公開性や中間的整理の問題点を指摘し、改善を要請してきました。しかし、最後まで改善が見られず、環境影響評価において重要な要件である科学性と公開性を無視したまま最終報告が出されたことは大変残念です。

「有識者研究会最終報告」に記載された科学性や論理性を欠いた部分が、補正評価書にどのように反映されているのか、また、公有水面埋立申請に引き継がれていくのか、私たちは引き続き注視していきます。

「最終ゴールは県外」と言いながら、一旦、基地を辺野古に作り、そこから移設するという石破茂幹事長の御意見も聞こえますが、これは多くの沖縄県民の意見を無視するばかりか、自然環境に「不可逆的に」悪い影響を与えるという観点からも絶対に認める訳にはいきません。

私たちは、沖縄県民や沖縄の自然環境を大切に思う国民の声が実現され、辺野古、大浦湾の地域、自然環境、生活環境が保全され、オスプレイが飛行せず、ジュゴンが絶滅しないことを強く願い、最終報告に対する意見書を送付します。

添付文書

「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価に関する有識者研究会 最終報告  
～ 評価書の補正に係る提言 ～」に対する意見